

夢に向かってⅢ

岱明中学校だより



学校教育目標

郷土に誇りを持ち
夢に向かって挑戦する児童生徒の育成

岱明中学校HP

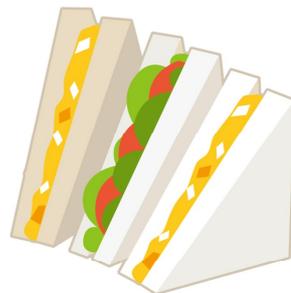
令和5年9月8日

文責：上田

前期後半！再スタート

夏休みが終わりました。子供たちは勉強に運動に頑張っていたでしょうか？家の手伝いはできたでしょうか。ちなみに夏休み前に紹介した「無言学習室」は延べ140人の生徒が利用しました。

しかし、夏休みを終えた今、「もっとああしておけばよかった。」など少し後悔している人もいます。夏休み明けの全校集会では、後悔することがあっても振り返らずに前に向かって進むように話をしました。もっとも大事なことは「今を生きる」ことで、過去をいつまでもくよくよ考えるのはもったいないことだからです。これから大事な時期を過ごす生徒たちにサンドイッチを例に話をしました。皆がまた新たなスタートを切り、これからの充実させてくれることを期待しています。



岱明中にも

カウンセラー来校しています

これまで保健だよりでお知らせしておりますが、岱明中にもSC（スクールカウンセラー）が月に4回来校しているのをご存じでしょうか。今年度は男性の山下カウンセラーと女性の宮野カウンセラーの二人が来校しています。ストレス社会と言われる昨今、生徒たちも様々な理由でいつの間にか心が重くなっていることもあります。ご家庭で気になることがありましたら、担任に相談

一人で悩んで
いませんか？



相談して
みませんか。

相談するのは普通のことです。
ちょっと恥ずかしいことではありません。

あいさつ学習環境コンクール と計算大会



生徒会の文化学習委員会が実施した「あいさつ学習環境コンクール」とは教室の学習環境が整っていることと授業開始のあいさつや返事などの参加態度を評価するものです。7月に実施された結果は1位1の1、2位1の2、3位2の2でした。他の学級もわずかの差で続いているようです。コンクールがなくても、落ち着いた学習が行われていますが、普段の生活を振り返るためにも、このような生徒会委員会の活動があるというのはいいことです。

数学科が1年と2年に実施した「計算大会」は、1年2組、2年2組それぞれがトップの成績でした。惜しくもそこに届かなかった学級も次に頑張ってください。

部活動の地域移行

まずは「男子バレー部」から

中体連の九州大会に出場するなど毎年好成績をあげている男子バレー部ですが、今月から地域移行することになりました。

地域移行は準備ができた部から順次行われます。男子バレー部は、部員一人一人が改めて玉名市が運営する「いだてん玉名スポーツクラブ」に入会し、これまでも男子バレー部を指導いただいていた池田コーチが中心となって活動が進められます。ちなみに、地域移行にあわせ新たにバレー部がない学校の生徒が2人チームに加わり一緒に練習をしています。



新校舎建設安全祈願祭が行われました。

新校舎建設がいよいよ本格的に始まるのを前に、7月26日、蔵原市長、福島教育長をはじめ、建設業関係の方々とともに実施されました。学校からは私と田中PTA会長が出席しました。酷暑の中でしたが厳粛な雰囲気になりました。長い期間になりますが、安全に工事が進むことを願っています。

なお、学校ホームページ（タイトル欄のQRコードでも見ることができます。）でも建設の様子が見られるように準備をしているところです。